



# ハートニュース

## 社団法人なら犯罪被害者支援センター事務局を移転

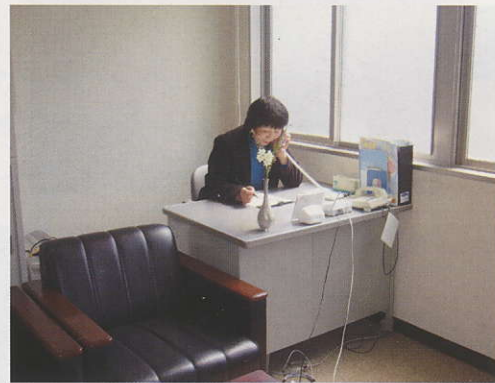
当センター事務局を、平成20年4月1日、「奈良マーチャントシードセンター3F」(奈良市橋本町)に移転、事務局体制を強化しました。



奈良マーチャントシードセンター3F



事務局



相談室

### ご挨拶

この度、奈良市大森町「奈良県農協会館」から奈良市橋本町「奈良マーチャントシードセンター」に事務局を移転しました。事務局移転は、被害者やその家族の方が、当センターを『より便利に』『より落ち着いて』ご利用いただけるよう、立地条件や施設面に配慮したもので、今後さらに、被害者やそのご家族方へのきめ細かな支援に努めて参りたいと考えております。

なお、これまでご協力いただきました奈良県農協組合の皆様、並びに今回の事務局移転にご協力いただきました奈良市役所の皆様に心から感謝申し上げます。

平成20年4月1日

(社)なら犯罪被害者支援センター  
理事長 西口 廣宗

# 社団法人なら犯罪被害者支援センターの活動



平成19年3月1日、奈良県警察本部において坪田警察本部長から、「社団法人なら犯罪被害者支援センター設立許可証」の交付を受けました。

平成19年4月5日、農協会館会議室において被害者等支援員委嘱式を開催しました。

西口理事長からボランティア27名に対して委嘱状を交付しました。



平成19年6月29日、農協会館会議室において「平成19年度第1回通常総会」を開催しました。

平成19年11月28日、なら100年会館中ホールにおいて当支援センター・奈良県警察・奈良県が合同で「犯罪被害者支援奈良県民集会」を開催しました。



平成20年2月29日、奈良マーチャントシードセンター会議室において「平成19年度第2回通常総会」を開催しました。

# 犯罪被害者支援奈良県民集会



今回のフォーラムで、犯罪とは全く無関係であった人が、ある日突然、「犯罪被害者」という立場に立たされ、その後、一人では乗り越えることができない様々な苦難に立ち向かわなければならないという被害者の現状と、地域や職場など身近な人たちによる支援が、被害者にとっていかに重要かがよく理解できたと思います。安全で安心できる地域社会を実現することは皆の願いです。しかし、不幸にして支援を必要とする被害者が出た場合、私達(社)なら犯罪被害者支援センターや警察等の関係機関団体、そして地域・職域が相互に連携して、被害者やその家族の方々が再び平穏な生活ができるまで、途切れることなく支援し続けなければなりません。犯罪被害者等基本法が規定するとおり、私達にはその責任があると考えます。犯罪や交通事故で尊い命を亡くされた被害者の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

理事長 西口 廣宗

「犯罪被害者週間」(11月25日から12月1日)期間中の平成19年11月28日、なら100年会館中ホールにおいて「犯罪被害者支援奈良県民集会」を、当支援センター・奈良県警察・奈良県が合同で開催しました。

記念式典後、コーディネーターに当支援センター顧問の三木善彦氏(帝塚山大学教授)、パネリストに犯罪被害者のご遺族お二人をお迎えして『被害者支援フォーラム』を開催し、被害者等の現状や必要な支援等について貴重なお話をうかがいました。

## パネリストのご紹介

### ●御手洗 恭二氏

御手洗 怜美(ミタライサトミ)さんのお父さん。  
御手洗 怜美さんは、平成16年6月1日、長崎県佐世保市立大久保小学校において、同級生の女子児童にカッターナイフで切りつけられ、その日、尊い命を亡くされました。11歳でした。

### ●武 るり子氏

武孝和(タケタカカズ)君のお母さん。  
武孝和君は、平成8年11月3日、孝和君が通っていた高校の文化祭に遊びに来ていた他校の不良グループに言いがかりをつけられたうえ、下校時に待ち伏せされ、集団リンチで大怪我を負わされました。そして、事件から12日後の11月15日、ご両親、妹、弟や友人の必死の看護や願いもかなわず、尊い命を亡くされました。16歳でした。

## コーディネーターのご紹介

### ●三木 善彦氏

帝塚山大学心理福祉学部教授・大阪大学名誉教授・奈良県臨床心理士会前会長・社団法人なら犯罪被害者支援センター顧問



フォーラムでのご発言要旨は別紙をご覧ください。

# 当センターでは、被害で悩んでいる方のために、 多様な被害者支援サービスを行っています

## センターの目的

犯罪に遭われた被害者、その家族、遺族が抱える悩みの解決や心のケアを支援するため、電話相談、面接相談等を行うとともに、社会全体の被害者等を支援する意識を高めるために設立した民間のボランティア団体です。

## センターの活動

### 相談活動

#### 電話相談

研修を受けたボランティアの相談員が、親身に対応

#### 面接相談

専門家が、心理相談、精神医療相談、法律相談を実施  
(事前予約が必要、一部を除き有料)

### 直接支援活動

#### 裁判等への付添

#### 面接相談



### 広報活動

#### 広報資料の発行

・ポスター、リーフレット等

#### 街頭キャンペーン

・「犯罪被害者週間」に実施

#### マスコミ広報

#### 関係団体等の協力による窓口広報

#### ホームページの開設

### 研修活動

#### 講演会の開催

#### 各種研修会への参加

## 社団法人 なら犯罪被害者支援センター役員

[敬称略]

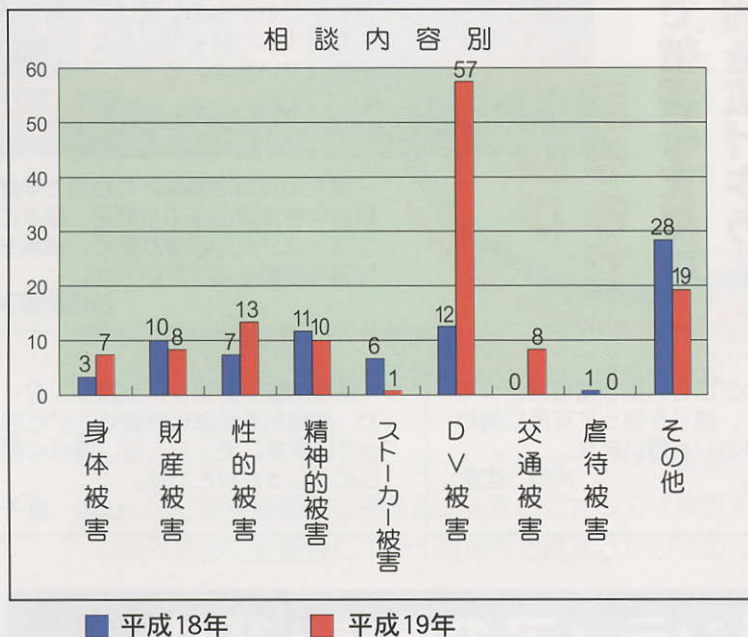
役 名	氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職
理 事 長	西 口 廣 宗	株式会社南都銀行 頭取
副 理 事 長	秋 本 讓 二	弁護士 (奈良弁護士会犯罪被害者支援委員会副委員長)
	森 本 俊 一	三和澱粉工業株式会社 代表取締役社長
専 務 理 事	森 田 清 司	株式会社南都銀行 総務部顧問
理 事	大久保 純一郎	帝塚山大学心理福祉学部 教授
	喜 多 一 嘉	喜多酒造株式会社 代表取締役 (橿原商工会議所会頭)
	菊 池 武之祐	奈良トヨペット株式会社 代表取締役社長
	小 泉 和 男	
	島 本 郁 子	当センター事務局長 産婦人科医 (奈良県立医科大学 臨床教授)
	高 橋 みのり	奈良いのちの電話協会 事務局長
	豊 田 園 子	天理大学人間学部 教授
	永 田 正 利	奈良県農業協同組合 経営管理委員会会長
	北 條 正 崇	弁護士 (奈良弁護士会犯罪被害者支援委員会委員長)
	堀 尾 治 代	天理大学人間学部 教授
監 事	宮 川 治 樹	帝塚山大学心理福祉学部 助教授
	宮 代 トシ子	DV専門相談員
	亀 井 常 可	税理士
顧 問	堀 川 英 幸	三和澱粉工業株式会社 顧問
	植 村 圭 子	奈良いのちの電話協会 理事長
	稲 山 一 八	奈良県生活環境部長
	栢 本 隆 博	奈良市理事
	藤 掛 永 良	なら被害者支援ネットワーク 代表
	三 木 善 彦	帝塚山大学心理福祉学部 教授 (奈良県臨床心理士会 会長)
	山 上 皓	全国被害者支援ネットワーク 会長 (東京医科歯科大学 教授)
参 与	米 田 茂 雄	奈良県警察本部 警務部長
	福 井 学	奈良県警察本部 警務部参事官
	吉 村 豊	奈良県警察本部 警務部県民サービス課長
	東 元 伸 光	奈良県警察本部 警務部県民サービス課被害者対策担当補佐

## なら犯罪被害者支援センターの 活 動 概 況 (平成19年中)

### ■ 取扱件数

区 分	総 件 数	電話相談	面接相談	直接支援	カウンセリング
平成19年	143件	82件	41件	18件	2件
平成18年	88件	71件	7件	5件	5件
対 比	+55件	+11件	+34件	+13件	-3件

### ■ 電話・面接相談状況 (平成18・19年)



### ■ 直接支援

被害内容	件数
生活支援	6件
病院付き添い	4件
弁護士相談付き添い	2件
被害届付き添い	2件
傍聴付き添い	1件
関係機関付き添い	1件
代理傍聴	2件

### ■ カウンセリング

被害内容	回数
交通事故被害	2件



平成19年3月、当センターは社団法人化され、また4月には被害者等支援員の養成課程を修了した27名が被害者等支援員として委嘱されるなど相談体制が整い、県民集会の開催などで被害者支援センターの活動が県民に浸透してきたように思われます。

相談件数は前年に比べ1.7倍に増加、特に面接相談は6倍、直接支援も3.6倍に増えています。

内容別では、性的被害、DV被害の増加が顕著です。被害を受けた方は1回だけの相談では問題解決には至らず、まして心に受けた傷を癒すためには繰り返し相談することが必要なのでしょうか。

DVの被害を受けた女性にとっても加害者から逃れて新たな生活を始めても、安心して平穏な生活を営めるようになるまでにはいくつものハードルを乗り越えねばなりません。身近な相談相手や支援員が必要とされていることを痛感します。

支援センターの役割は益々重要になってくるのではないのでしょうか。

# 支援員さんからの一言

「人を傷つけるのも人、人を救うのもまた人」（空海？）

後者が多い住みよい社会をめざして努力していきたいです。

石原 淑子

犯罪被害者やその家族の方々に安心していただき、また暖かみのある心の拠り所となっただけの支援員として努力して参ります。

氏田 節子

被害者支援の輪が着実に広がっているのが、全国規模で感じられます。少しでも被害者のお役に側面から協力出来たらと思って活動しています。お電話下さい。

内山 益榮

痛みや悲しみに共感することの大切さ。自己成長を伴いながら支援員の役目を果たしていきたくと思っています。

大西 陽子

「明日は我が身に起こるかも」という意識をみんなが持って生活できる社会になるように頑張っていきたい。

辰巳かお瑠

耳目をふさぎたくなる数々の事件。何の予告もなく突然に。一人の人間として支えきれない分、共にあり北風の中の日だまりでありたいと。

広田 利子

お話しください。支援員と一緒に共に考えましょう。あなたの悩み、どのようにできるかを。

水尾 より子

支援のプロを目指し積極的にスキルを磨き、誇りを持って支援に関わって行きたいと思えます。

片岡 佳永

環境の整った新しい支援センターで、気持ちも新たに活動したいと思っています。モットーは、温かく優しく、しっかりとです。

山本 貞子

**支 援 します！**

**あなたの笑顔が  
戻るまで  
みんなで被害者支援の  
和を広げよう！**

被害者のご家族が事件の直接被害に加え、二次被害の多くの苦痛を知りました。隣人、支援員としてお役に立ちたいと願っております。

岡 久美子

あなたの背負った心の荷物、支援員の私たちにも少し預けてくれませんか。少しは軽くなるかも・・・待っています。

西本 房乃

実際の支援活動はこれからですが、研修や各支援団体の小冊子、日々のニュースから学ぶ事が多く、今後も地道な活動を続けたいです。

前田美智子

## 被害者支援ボランティアの養成・研修

基礎研修、実地研修等を継続的に行うほか、各分野における専門家講師の指導を得て、より充実した支援活動ができるよう、訓練を重ねています。

### ボランティア支援員を募集



- 応募資格（性別不問）
  - 1 県内在住の年齢20歳以上の方
  - 2 心身共に健康である方
  - 3 被害者支援に関心があり、ボランティア活動に理解と意欲がある方
- 募集人員 20名
- 応募期限 平成20年6月30日
 

応募者を選考の上で、支援活動に必要な知識や技能を習得するため、一定時間以上の「被害者支援員研修」を受講(有料)していただきます。

詳しくは事務局までお問い合わせ下さい

**募集中!**

# ご協力 有り難うございます

平成19年度賛助会費を納入して頂きました団体・法人

## 団 体

宇陀地区保護司会 宇陀警察署 田原本警察署幹部会 中吉野警察署 五條警察署五友会 奈良県自動車販売店協会 奈良県警察本部生活安全企画課幹部チーム 奈良県警察本部捜査第一課幹部会 奈良県警察学校教職員 奈良市男女共同参画課 奈良西警察署幹部会 奈良西警察署西友会 奥山自治会 警備部機動隊

## 法 人

医療法人奥田眼科学園前診療所 医療法人果恵会恵王病院 社会福祉法人大和清寿会医療法人健和会 岡村産業(株) 学校法人聖心学園 学校法人帝塚山学園 (社)奈良県トラック協会 A I U保険会社奈良支店 (株)J T B奈良支店 (株)明新社 アスカ美装(株) 生駒商工会議所 石崎眼科 大勝建設(株) A I 保険サービス(株) 尾浦自動車(株) 大川邁税理士事務所 大和高田商工会議所 葛城木材産業(株) (株)イムラ封筒 (株)鍛冶田工務店 (株)セイコー社 (株)高木包装 学校法人智辯学園 (株)寺田ポンプ製作所 (株)トーマ (株)ナカガワ (株)奈良自動車学校 (株)奈良保健衛生社 (株)奈良ホテル (株)奈良マツダ (株)奈良木建 (株)南都銀行 (株)ハヤシニット (株)福本設計 (株)まさご電機 (株)榎谷 (株)榎谷設計 (株)ミヤタケ (株)三輪そうめん山本 (株)有宏社 河村商事(株) 関西電力(株) 旭光コンクリート(株) 近畿運輸(株) 近畿食糧(株) 近鉄百貨店(株) クラウン工業(株) (株)公益社 駒井製作所(株) 小山(株) 広陵町建設業協同組合 広陵町商工会阪口工業(株) 酒本産業(株) (株)さこや旅館 三和建设(株) 三和住宅(株) 三和澱粉工業(株) (財)奈良県交通安全協会 (財)奈良県防犯協会 (社)奈良県銀行協会 シャンデール GMB(株) 進弘繊維(株) 大協(株) 大恵化学工業(株) ダイヤ製薬(株) 大和ガス(株) 田村薬品工業(株)つる由 天理教 渉外広報課 (財)天理よろづ相談所病院 東京海上日動火災保険(株)奈良支店 トヨタカローラ奈良(株) トリスミ集成材(株) 奈良県医師会 (社)奈良県警友会連合会 奈良県信用金庫協会奈良県信用保証協会 奈良県生命保険協会 奈良県中小企業団体中央会 奈良県農業協同組合総務 奈良交通(株) 奈良商工会議所 フジゼロックス奈良(株) 奈良ダイハツ(株) 奈良豊澤酒造(株) 奈良トヨタ自動車(株) 西垣林業(株) 日本生命保険相互会社奈良支社 畑中産業(株) 東田真珠(株) ビッグサム(株) (有)フローラ リエ ホテル日航奈良 ホンダ奈良自販(株) 松田電気工業(株) ミュージックサービス(株) 明治安田生命保険相互会社奈良支社 (株)山中葬儀社 (有)よしの 和同実業(株)

## 奈良市役所から寄付をいただきました



平成20年2月6日、奈良市役所から30万円の寄付をいただきました。

当センターの活動を財政面から支援しようとする同市職員有志499名からのご厚意によるもので、福井重忠副市長から島本郁子事務局長が受領しました。

## 事務局員からご挨拶申し上げます



事務局次長 川崎 次男

少しでも被害者の心の支えとなり、また支援員の皆様のお役にできるよう頑張ります。

奈良県警察(39年勤務)のOBです。住まいは香芝市、趣味は家庭菜園です。

宜しくお願いいたします

事務局員 中田 忍

この仕事に携わってから、犯罪というものには、誰もが隣り合わせなんだということを実感し、また被害者の方たちの体験や切実な悩みにすごくショックを受けました。何の知識も経験もありませんが、精一杯お手伝いをさせて頂きたいと思いますので宜しくお願いいたします。



## 賛助会員・寄付等のご願い

社団法人なら犯罪被害者支援センターの活動は、「会員」及び「寄付者」の皆様からの温かいご支援により支えられています。当センターを財政面からサポートしていただける賛助会員や寄付者を募集しています。皆様のご協力をお願い致します。

年会費	個人	1口	3,000円
	企業・団体	1口	10,000円

※ 専用の振込書を用意しておりますので、詳しくは事務局までお問い合わせください。



## 電話相談・面接相談のご案内

### 事件や事故の被害でお悩みの方 一人で悩まないでお電話下さい

#### 犯罪や事故の被害に遭い

- 事件を思い出すと恐怖心に襲われる
- 心が不安定で眠れない
- 自分を責めてしまう
- 自分の気持ちを誰もわかってくれない
- 物事に集中することができない
- ひとりぼっちだという気がする
- いつも心細くて寂しい

#### 家族が被害に遭い

- どう接したらいいのかわからない
- 立ち直れないのではと心配
- 性格が変わってしまった

#### 電話相談

相談は無料です。原則 月・火・水 金・土 の10時から15時です。



ゼロナヤミ  
0742-24-0783

#### 面接相談

面接相談も行っています。ケースに応じて、心理相談や法律相談を紹介します。まず、電話相談や事務局でご相談ください。なお、専門相談は一部を除き有料になります。



## 社団法人なら犯罪被害者支援センター

Nara Victim Support Center

〔事務局〕〒630-8217 奈良市橋本町3番地の1 奈良マーチャントシードセンター3F  
原則 月・火・水 金・土 10:00~16:00  
TEL・FAX 0742-26-6935



## フォーラムでの発言要旨

(各発言の全文を掲載すべきところですが、紙面の都合上、要旨のみとさせていただきます。)



### Q. 犯罪被害に遭う前のご家族の様子をお聞かせ下さい。

#### 武 氏

- 犯罪の被害に遭うと、それまで犯罪に関わってきたんじゃないかと、思われたり、言われたりしますが、平和に生活してきた普通の家族が犯罪被害に巻き込まれるのです。
- 私達夫婦は、1976年に大阪で結婚し、3人（男、女、男）の子どもに恵まれました。結婚して1年余りで妊娠しましたが死産でした。そのときのショックから次の子供を産む気にならず、ようやく決心して生まれたのが被害にあった長男孝和でした。主人は嬉しさの余り、田舎の両親に泣きながら報告していました。
- 長男が11ヶ月のときに血友病と分かりました。その頃主人は、独立したばかりで生活は苦しかったのですが、子どもの思い出を残したいとの強い思いからビデオカメラを買い、毎日記録を撮り続けました。そんな家族でした。

#### 御手洗 氏

- 妻とは長崎で結婚し、子どもは男、男、女の3人です。私は、仕事にかまけて、家のことはすべて妻に任せていました。でも、休日は家族と一緒に時間を過ごそうと、九州各地を回りました。今でもそのときの写真やビデオが山のようにあって困っています。
- 結婚して13年目、妻に癌が見つかり、その5年後、妻は亡くなりました。そしてその翌年、長崎県の諫早から佐世保に転勤になり、長女の怜美も小学校4年生で転校しました。

### Q. 事件直後のご家族の様子などについてお話しいただきたいと思います。

#### 武 氏

- 事件から12日後、長男が亡くなり、私達家族の生活すべてが変わりました。犯罪被害に遭うと、加害者をひたすら憎んで生活していると思われる。もちろん加害者は憎い。一生恨みます。一生許さないと。でも、まずは自分を責めてしまいます。自分がこうしなかったから、自分が育てたからとか、毎日自分を責めました。主人も自分を責めていました。そして、主人は敵を討ちたいんですね。勿論敵討ちをしてはいけいけないのは分かっています。でも、今でも敵討ちをしてやれない情けない父親だと自分を責めています。
- 毎日口論が絶えません。ご飯を食べていて何気なく「美味しいね」と言うと、主人が耐えきれなくなって、食台をひっくり返したことが何回もありました。家電製品もたくさん壊しました。壁や戸にも傷ができました。何でも長男と重なるものですから、家の中はとても大変な状態になりました。

#### 御手洗 氏

- 今でも、事件当日のことを聞かれるのが正直一番辛いです。
- 教頭先生から「娘が怪我をした」と連絡をもらい、学校に駆けつけると異様な感じで静まりかえっていました。顔見知りの先生に聞いても、上（現場は3階の教室）を指差すばかりです。現場の先生方も大混乱している。現場は3階でした。上がったら・・・信じられない光景が・・・。救急隊員に「もう蘇生できません。」と言われました。何で自分の娘が血の海の中で倒れているのかが頭の中で理解できない。近づこうにも足が前に出ない。現場で抱き上げることが出来なかった。これは今でも本当に後悔しています。
- 頭の中では「何でこんなことになったんだ」ということばかり考えていて、何日経っても事実が認知できない。それでも、時間とともに色々なことが目の前で動いていきます。警察での事情聴取、司法解剖後の遺体の引き取りをどうするか。私が決めなければ物事が進まない。テレビや新聞でも大きく報道される。どうして自分と娘の名前が出ているのか理解できない。混乱した状況が、1週間くらいは続いたと思います。
- その後の自分とか家族の様子というのは、正直言って子供にまで気配りできていたのか、今振り返ると本当に心配です。自分自身壊れていたんだと思います。
- 普段の生活では、事件のことはとりあえず戸棚にしまっています。見ないように、考えないようにしています。そうしないと生活ができなと思っています。それが何かのきっかけで戸棚から溢れて出てきます。子ども達とも、事件のことを話したのはごく僅かです。そうすることで生活を守ってきたような気がします。

## Q. 事件後の体験で困ったこと、不合理だと感じたことについてお話し下さい。

武 氏

- 当時、中学1年生の長女と、小学3年生の次男がいました。今、長女は23歳、次男は20歳になります。次男は1年くらい前からお兄ちゃんの話ができるようになりました。10年かかりました。でも長女は、未だにお兄ちゃんの話ができません。元気に出かけていったお兄ちゃんが、帰ってきたときは棺に入っていたわけですから、そのときのショックは計り知れないものがあったと思います。子ども達を思いやる余裕が私も主人にもなかった。子どもにも支援が必要だと思います。
- 加害者が少年だからという理由で、警察も家庭裁判所も情報をくれませんでした。情報がもらえないことがどんなに不安か。後になって犯罪被害者等給付金を申請して、息子に落ち度がなかったとの結果をもらい、警察はちゃんと調べてくれていたと分かりました。遺族にとって情報はとても大事なものです。

## Q. マスコミの取材と被害者の立場について感じられることをお話し下さい。

御手洗 氏

- マスコミの取材が集中するのは、事件発生から1週間ぐらいが一般的だと思いますが、その時期の被害者や遺族は、現実を受け入れられない混乱している時で、報道されてから、「こんなこと言ったっけ」「こんなつもりじゃなかったのに」とか、傷つく可能性があります。聞く側は、相手が混乱した状態にあることを理解し、発せられた言葉の意味を考えて欲しい。
- もう一つ、被害者や遺族に信頼できる代理人がついて、取材は、当面その代理人任せぐらいでいいと思います。「当面」と言いますのは、個人差もありますが、被害者には、話したい、聞いて欲しいという時期も来るからです。

## Q. 事件後受けられた支援で、印象に残っている出来事があればお話し下さい。

御手洗 氏

- 事件直後で一番大きかったのは、会社の対応です。私と特に親しかった同僚と後輩の2人を、完全に仕事と切り離して2ヶ月間、生活のサポートにつけてくれました。私の家に泊まり込んで、買い物、飯炊き、掃除まですべてのことを手伝ってもらいました。
- また、県警の被害者支援の担当の方が付いて下さり、次男を学校へ迎えに行ったり、一時的に避難するために親族の家まで送ってもらったり。1ヶ月ぐらいは取材等でトラブルがないように警戒していただくなど、手厚く対応していただきました。
- 実務的な面では、同僚から代理人を紹介してもらい、代理人を通じて相手側などの折衝をしてもらったことも非常に助かりました。

武 氏

- 事件後、家族が本当に大変だったとき、私達を助けてくれたのが地域の人たちでした。町内会、婦人会、PTAの方々。毎日、家には誰かが来ていました。
- 普通の簡単な日常生活ができないわけです。買い物一つが大変です。今まで5匹買っていた魚が4匹でいいわけです。それを思うだけで買えない。誰かが一緒に行ってくれると勢いで買えるわけです。
- 一人で外を歩いていると、私を避けるように皆が散っていく時期がありました。私は酷いと思いました。そのとき私は、周りの人を寄せ付けないような凄く怖い顔をしていたようでした。何にでも腹を立てていました。加害者に、国に。そして、何ら変わらない景色にも腹を立てていました。そのことを注意してくれた人がいました。ちゃんと言ってもらって気がついたとき、本当に涙が出ました。その人のお陰です。

## Q. 最後に一言お願いします。

武 氏

- 私達家族は、息子が生き返らないかぎり元の生活には戻れません。私は11年前、死ぬことばかり考えていました。遺書も書いていました。でも、色々な人に支えていただき生きて来れました。今では、(事件前と)違った形の家庭になりつつあります。
- 被害者には、色々な人の支援が必要です。やはり警察、被害者支援センター、行政。もう一つ必要なのが地域です。周りの人の協力は第一です。

御手洗 氏

- 毎日、反省ばかりしています。自分の子どもの気持ちをつかめていなかったこと、相手とのトラブルに気づいてやれなかったことを。子どもが私に話ができる状況になかったと、後悔ばかりしています。
- 犯罪が無くなればそれにこしたことはありません。子ども達には、自分が起こした犯罪によって、相手と相手の家庭だけじゃなくて、自分と自分の家庭も壊していくことを教え、きちんと理解させることが必要だと思います。